

事務事業	7002	税務研修事業	担当課	税務課	担当係	固定資産税係
計画 後 期 体 計 系 画	施策	19	将来にわたって持続可能なまちをつくる	予 算 科 目	会 計 1 一 般 会 計	
	取り組み方針	530	健全な財政運営を行う	款	2	総務費
				項	4	徴税费
				目	1	税務総務費
法令根拠条例等			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 29年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H9	年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 税務事務の専門知識を習得する。		<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
		主 な 事 業 費 の 内 訳	千円
			千円
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 税務研修会へ参加			千円
			千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務 事 業 の 目 的	① 手段(主な活動) 29年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 福岡県主催研修会に参加。 糟屋郡主催研修会に参加。
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) 税務課職員
	③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 税務研修に参加して専門知識の向上を図る。

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 研修参加回数	回	14	19	16 (見込)	
イ				(見込)	
ウ				(見込)	
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 対象税務課職員数	人	17	16	17 (見込)	
イ				(見込)	
ウ				(見込)	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 研修を受けた職員数(延べ)	人	目標	12	12	12
		実績	23	39	
イ		目標			
		実績			
ウ		目標			
		実績			
エ		目標			
		実績			
オ		目標			
		実績			

(2) 総事業費の推移

事 業 費	財源内訳(千円)		28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
	経 費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源		60		70		
		合計(A)	0	60	0	70	0	0
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)		109	107	158		
	トータルコスト(A)+(B)	0	169	107	228	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成29年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
不明。	負担金不要の研修会が多く開催されるようになった。	研修に参加し、職員の専門知識を向上させてもらいたい。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		29年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成29年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	出来るだけ多くの研修に参加し、職員の専門知識を向上させる。	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	職員が研修に参加することにより、専門知識を習得し適正な課税をしわかりやすい説明が出来るようにする。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	今年度も負担金の不要の県主催などの研修に参加したが非常に有意義な研修であった。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	他団体主催の研修会であり、余地がない。
④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	専門知識の習得が困難になる。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	他団体主催の研修会のため、余地がない。

(2) 29年度を振り返って(全体総括・反省点)

業務や日時の都合もあると思うが、出来るだけ多くの研修に参加し、専門知識を習得しわかりやすい説明出来るように努める。

3 今後の方向性(30年度以降の計画と31年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成30年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	出来るだけ多くの研修に参加し、職員の専門知識を向上させる。